

作成日:2020/05/14

更新日:2023/07/07

CiNii Research の使い方

1. CiNii Research とは

国立情報学研究所が提供する無料のデータベース。論文、図書・雑誌や博士論文などの文献情報のほか、研究データやプロジェクト情報など、国内の研究活動に関わる多くの情報を検索できる。 ※2022 年 4 月 18 日、CiNii Articles は「CiNii Research」に統合されました。

<mark>主な特徴</mark>・全ての分野についての日本の学術論文を検索できる

- ・検索結果画面に本文データへのリンクがある場合は、オンラインで論文が読める
- ・参考文献や被引用文献が表示される論文もある

…日本の雑誌論文を探したいときに使うデータベース!

2. アクセス方法

(1) 図書館トップページ ⇒ (2)「CiNii Research 論文・データを探す」 ⇒ (3) CiNii Research https://ci.nii.ac.jp/



作成日:2020/05/14 更新日:2023/07/07

3. 検索画面と検索方法

Cinii Research には、キーワードを入力して検索する**簡易検索**画面と、論文のタイトルや著者名等の情報を項目に合わせて入力して検索する**詳細検索**画面があります。

● 簡易検索画面(初期画面) ※PC版



● 詳細検索項目を表示した画面 ※PC 版



作成日:2020/05/14

更新日:2023/07/07

① 簡易検索窓

② 検索対象の選択

タブを切り替えることで該当の資料・データに絞って検索できる。

③ 詳細検索項目の表示

論文名や著者名、出版年などより詳しい条件を入れて検索したい際に、クリックする。

④ 詳細検索項目入力窓

論文タイトル・著者名等の情報を項目に合わせて入力できる。②で検索対象を絞ることで、検索項目が変わる。

⑤ 本文リンク

オンラインでアクセス可能な本文データがあるものに絞って検索したいときに、チェックを入れる。

◆ヒント① ~検索条件の入力~ ◆

- ・入力語が少ない→検索結果多い
- ・入力語が多い→検索結果少ない

収録されている情報は膨大なので、上記を参考にしながら、 検索条件を見直して必要な情報を見つけよう!



◆ヒント② ~雑誌を探す~ ◆

雑誌には ISSN (International Standard Serial Number の略) という番号が付けられている場合がある。これは、雑誌がタイトル毎に持っている国際番号である。

つまり、ISSN が分かれば、雑誌をすぐに特定することができる。類似した名称の雑誌が多い場合等に雑誌を特定するのに便利!

作成日:2020/05/14

更新日:2023/07/07

4. 検索結果画面の見方

● 検索結果一覧画面

▶ 文部省実験学校における図書館教育

(2)

根本 彰 図書館界 74 (5), 252-264, 2023-01-03

… 戦後教育改革において,文部省は<mark>学校図書館</mark>を教育課程に組み込む実験学校の指定を行った。東京学芸大学附属<mark>小学校</mark>(世田谷校)が最初の図書館教育モデルを提示したことを確認した上で,東京都港区立氷川<mark>小学校</mark>,川崎市立富士見中学校,栃木県立栃木女子高等学校の3校の実験内容を検討した。…

DOI

入手方法

学芸大OPACを検索

● 検索結果詳細画面

文部省実験学校における図書館教育

DOI

□ 根本 彰

東京大学

書誌事項

| タイトル別名 Library education at experimental sch Japan

この論文をさがす

Get Fulltext 入手方法

(5)

①論文のタイトル

※検索結果一覧画面で論文タイトルのリンクをクリック すると詳細情報画面に移動する。

②その他書誌情報

「著者名 掲載雑誌名 巻,掲載ページ,刊行年月日」の順で記載されている。

③関連リンク

・DOI…本文データへのリンク

※表記が違う場合や表示がない場合あり。

- ・入手方法…論文の入手方法を提案してくれるリンク
- ・学芸大 OPAC を検索…掲載雑誌が学芸大図書館にあるか 検索してくれるリンク

4)抄録

III OP

論文の要点を短くまとめた文章。

※掲載されていない場合あり。

⑤収録刊行物

論文が掲載されている雑誌の情報が書かれている。

抄録

戦後教育改革において、文部省は学校図書館を教育課程に組み込む実験学校の指定を行った。東京学芸大学附属小学校(世田 谷校)が最初の図書館教育モデルを提示したことを確認した上で、東京都港区立氷川小学校、川崎市立富士見中学校、栃木県立栃木 女子高等学校の3校の実験内容を検討した。その結果、図書館教育自体の困難さに引き換え短期間で成果を挙げることが要請されたこと、校種によって教育課程において生じている事情があったことや学校図書館専属の教職員が置けなかったことなどの理由で、図書館教育を継続させることは困難であったことを明らかにした。

収録刊行物





図書館界 74 (5), 252-264, 2023-01-01 日本図書館研究会



抄録からは論文の概要が分かるよ。 これを読むと必要な論文かどうか わかるね!